

フレッシュマン・オカザキのインド通信

## いきなりの新石種紹介！！

**お世話になっております！**

いきなりですが、当社のインド協力工場の新石種をご紹介します！  
これまでいくつか安価の黒石種をご紹介させていただきましたが、色が薄かったり、原石のサイズが小さすぎたりと、イマイチ奮わずにいました。

しかし、今回は**大本命**です！

その名も“**CN-1**”。アメリカ向け墓石生産も請け負うこちらの工場に使用されており、問題も少ないとの事でユーザーには大変に気に入られているようです！色は2種類あり、薄手を“**CN-2**”と呼んでいます。日本向けには濃い手の“**CN-1**”のみの使用をお願いし、了承を頂くことが出来ました。長尺も取れる石で、工場には10尺はあろうかという原石もいくつかありました。外柵材としての活躍も見込めそうです！工場はこの石を2面切削のスラブ材で仕入れており、購入前にしっかりと石を吟味して選ぶことが出来るので想定外のキズや問題も少ないのです。

単価交渉の末、何とか使いやすいお値段になったかと思しますので、まずはサンプルをご覧になって下さい！お見積り等の詳細は、弊社担当営業員まで！



## **HAPPY HOLI!! (ハッピー・ホーリー)**

以前、ポンガルというヒन्दゥー教のお祭りをご紹介しましたが、祭日  
つながりで今回はホーリーをご紹介します。

ホーリー (HOLI) とは、インド暦第 11 月の満月の日 (太陽暦では 3 月) に  
行われる、春の訪れを祝う豊作祈願の祭りです。その後クリシュナ伝説など  
の各地の悪魔払いの伝説などが混ざって、現在みられる形になりました。  
他のお祭りとは違い宗派による風習の違いは無く、異宗派同士でも祝い合う  
ことができます。

ホーリー祭の最大の特徴、それは色粉や色水を掛け合うことです。祭りの前週から繁華街には色粉や水鉄砲を販売する露店が多数出てきます。人々は色粉等を購入し、当日は地域の人達が集まって、祭りが始まると友人知人のもとより通りがかった見知らぬ人にまで顔や身体に色粉を塗りつけたり、色水を掛け合ったりします。色粉を塗りあった後は「ハッピー・ホーリー」と言いながら抱き合ったり、皆でわいわい騒ぐ楽しいお祭りです！タイや東南アジアを中心に催されている水かけ祭りに少し似ていますね。



↑なんともまあ非日常的な光景ばかりですね…

このホーリーにおいてインド全土で最も有名なのは、タージ・マハールのあるアーグラの近くで、クリシュナ神の生誕地とされているマトゥーラフリンダバムで催されるホーリー祭です。通常、ホーリーはインド暦で決められ

た1日の午前中だけですが、マトゥーラフリンダバムでは、10 日間にわたってホーリー祭が行われ、人々はホーリーを心の底から楽しめます。それには、この国の持つ悲しく歴史、厳しい制度も関係しています。約3000年もの歴史を持つインドの厳しい身分制度、みなさんご存知の**カースト制度**です。1950年に制定されたインド憲法によってカースト制度は禁止され、法律上はカーストが存在しないことになっている現在のインド。しかし、ヒन्दゥー教徒に3000年間根付いてきたものが、そう簡単に払拭できるわけがありません。現実には、今もカーストはインド人の根底に存在し続け、人々を苦しめているのです。**ホーリーは、そんなカースト制度がなくなり無礼講が許される一年間で唯一の日。一年間カーストに縛り付けられていた人々が、この日だけはその縛りから解放されるのです。**

**そして、なんとこのホーリー祭、日本でも若者の間でフームになりつつあるようです！**



2008年ごろからアメリカやヨーロッパで流行し始め、既に日本でも**Color Run** や **Color Me Rad** などおしゃれなイベント名をつけて、各地で開催されているようです。ハロウィンが最近日本でフームになりポイ捨てや公共トイレの占拠などで賛否両論ありますが、日本のホーリー祭は会場が設けて

あるのでその点は心配ありませんね。それに合わせてインドバザールなども場所によっては開かれているようなので、興味ある方は調べてみてください！

今月はここまで。読んで頂き、有難う御座いました！

2016/04/01 オカザキ